

議会日誌

■7月■*****

- 1日 「社会を明るくする運動」榛東村推進委員会
非核平和行進に対する協力をお願い
- 8日 北群馬郡議員研修（吉岡町役場）
- 10日 広報委員会
- 16日 住宅新築資金貸付金回収検討委員会
- 23日 視察研修（環境整備特別委員会）（渋川市）
- 28日 総務文教常任委員会現地視察

■8月■*****

- 5日 榛東村新庁舎等建設委員会
- 10日 むらづくり祭実行委員会
- 11日 議会運営委員会
- 24・25日 議会広報委員研修（東京）

■9月■*****

- 1日 議会運営委員会
- 2日 総務文教常任委員会
- 3日 福祉生活常任委員会
- 4日 産業建設常任委員会
- 8日 定例会（初日 一般質問）
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 福祉生活常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 14日 定例会（2日目 決算審議）
全員協議会
- 15日 基地対策・幹線道路特別委員会
環境整備特別委員会
- 17日 定例会（最終日 一般議案審議）
- 24日 広報委員会
- 28～30日 産業建設常任委員会視察研修（福島県）

表紙の題字は高橋正議長の手書



私の「青春の時代」

石関勝次

昭和12年(22才)で満州鉄道自警村に入村。昭和16年から、日ソ戦争に備えての国境警備にあたり、昭和19年5月、赤紙にて召集され東満国境の第803部隊に入隊。ロシア語、中国語が話せたので情報部に配属され、満州と朝鮮の情報収集にあたっていた。昭和20年2月ドイツ軍降伏。8月満州国に上陸したソ連軍をせんめつするも再びソ連軍が上陸し、私は次の陣地、牡丹江に出発、山中でソ連軍を迎撃。8月15日の終戦を知らず、16日からのソ連軍との交戦は凄まじく5日間も死闘が続いた。525名中、25名をのこすのみとなった。この時、負傷して以降は逃亡生活。10月25日遂に捕虜となり、収容所に送られる。ロシア語ができたので、収容所の少佐と話をして「できるだけ静かにすること、歩哨の言うことを良く聞くように」と皆に命令できた。昭和20年11月、吉林省の収容所からルーマニア国境の奥シベリアへ移る。日本人2500人。寒さが厳しい所で真冬には零下65度くらいになることもある。多くの人が死んでいった。その酷寒にも耐えて、昭和23年10月30日、ナホト

力港に着いた。そして11月2日、舞鶴。日本に帰国できた。今年で94になります。健康で、豊かな生活を実感するとき、ソ連はもとより国内外で犠牲になつた多くの友を偲び、ただただ冥福を祈るのみです。

「友に捧げたし桜花一枝なり」「戦傷の友と耐えきたりし53年、日本全国に18名、きょう生存を共に分かつた、年増すことに、楽しき身にしむ、貴男も私も犠牲者だみんな元気に集りて、昔話に花が咲く、赤紙一枚国のため、貴男も私も犠牲者だ」

お願い

皆様のご意見をお待ちしています。

◆連絡先：議会事務局 ☎54-2211

編集後記

新しい「日本の歴史のページ」が開かれたこの瞬間に、生きていくことの喜びを体中でかみしめている。一足先に、アメリカでオバマ大統領の誕生により、「核兵器のない世界」の実現に向けて、歴史の歯車が動き出し、いつか無関係ではないだろう。福祉、教育、平和、くらし、雇用に対する政治の責任を求める国民の声が、チェンジの合言葉になつて旧政権を追い落とした。この後は、監視の目をいつそう鋭くしなければ。

(柳田)

議会を傍聴してみませんか？

村民の選んだ代表が議場でどんな発言をしているのか、行政はどんな対策を考えているのか、自分の耳と目で確かめて下さい。